

ひだまり



令和2年7月13日(月)
足立区立中川東小学校
道徳通信 第1号
校長 豊田 純子
道徳教育推進教師 前田 康介

◇道徳通信『ひだまり』の発行◇

「特別の教科 道徳」の学習では、子供たちの道徳性を育むことをねらいとしています。道徳性とは、子供たちが自らよりよい生き方を見出すための基盤となるものです。道徳性を育むことで、「自分にもできる。」と自己肯定感を高めることや社会性を身に付けることができます。また、「道徳は答えが決まっていないから発表しやすい。」「友達の考えを聞くことが楽しい。」と答える子供たちの様子から、学習意欲の向上にも繋がると考えています。

子供たちの道徳性を育む場は、学校だけではありません。子供たちは、日々色々な出来事から、よりよく生きるためのヒントを得ています。そこで、今後は学校・家庭・地域でより一層連携を図りながら、子供たちに道徳教育を行っていきたいと考えています。毎年実施していた「道徳授業地区公開講座」は、コロナの影響により今年度行うことが難しい状況です。しかし、そのような中でも日頃の子供たちの道徳授業の様子や道徳教育に関する情報を毎月発信できるように、「道徳通信『ひだまり』」を発行していきます。家庭や地域の場で子供たちと接する際に、話題にいただければ幸いです。また、家庭や地域での子供たちの様子に変容がありましたら、各担任を通じてご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。

*タイトルの『ひだまり』には、たくさんの人を温かく優しく包み込む豊かな心子供たち自身が育んでほしいという願いを込めています。

◇道徳の時間の学習内容について◇

道徳の内容は、全学年4つの視点があります。

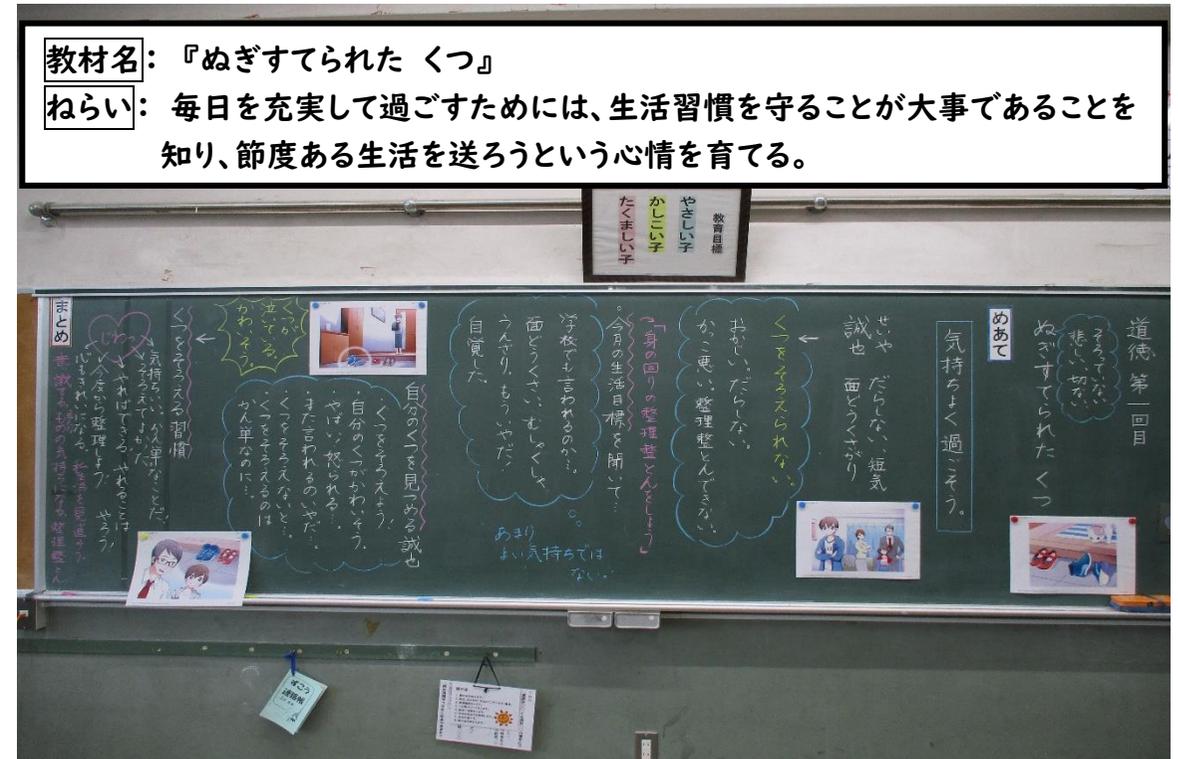
下記の内容をもれなく学習し、多面的・多角的に子供たちの道徳性を養えるように、各学年で計画されています。

- ① 自分自身に関すること
(基本的な生活習慣など)
- ② 他の人とのかかわりに関すること
(礼儀、親切、友情など)
- ③ 自然や崇高なものとのかかわりに関すること
(生命尊重など)
- ④ 集団や社会とのかかわりに関すること
(勤労、郷土愛など)



◇各学年の道徳の時間◇

「道徳通信『ひだまり』」では、各学年の道徳授業の様子をリレー形式でお伝えしていきます。今回は5年生の道徳授業の様子です。



子供たちの学習感想

- ・みんなが気持ちよく過ごすためには、やって当たり前のことはしっかりやるのが大切。
 - ・面倒なことでも、みんなが気持ちよく過ごすために諦めないでやり続けることが大事。
 - ・「みんなが気持ちよく」という意識をもって生活することが大切。
 - ・「自分にはできない!」と決めつけしないで、1つずつ丁寧にやっていくことが大切。
 - ・整理整頓をすると、心がすっきりする。
- みんなが気持ちよく過ごすために何かをすることで、心がきれいになる。

～立ち止まって、考えよう。～

『自由』と『自分勝手』 何が違うんだろう。
『自由』と『責任』 どんな関係なんだろう。
ご家庭で、お子さんとともに考えてみてください。

